

Association of Teachers of Japanese in Oregon (ATJO)
& PSU Institute for Asian Studies present

「多読」ワークショップ

This workshop will be conducted in Japanese

9月25日（日）1:00 - 4:00 pm

Portland State University, Academic & Student Rec Center, room 240

ATJO 会員は受講無料、非会員で参加ご希望の方は 10 ドルで受講できます。
ご参加予定の方は、ATJO 系満までお知らせください。 mitomit@linfield.edu

「多読とは何か？」 Kunihide Sakai (酒井邦秀)

いま広がりつつある多読は、これまでの語学学習のゆがみを反省して 2002 年に提案しました。いままでの日本における外国語学習、外国語教授法は、辞書と文法を頼りに少量の英文を日本語に直しつつ理解するもので、いくつもおかしな点がありました。今回の講演では、そうしたおかしな点を確かめた上で、自然な外国語を楽しみながら吸収し使う方法として多読・Tadoku を提案します。

「日本語多読とその実践方法」 Makiko Awano (栗野真紀子)

英語多読の実践から学びながら、日本語多読も 2002 年にスタートしました。英語多読と違って、多読向けの本が少ない日本語では、どんな本を使ってどんな風に日本語多読の授業を行えばいいのでしょうか。実際の教室の様子を動画で紹介しながら、実践例を具体的に紹介します。さらに多読が学習者にどのような変化をもたらしたかについてもお話しします。

Kunihide Sakai (酒井邦秀) NPO 多言語多読理事長

2011 年 3 月、電気通信大学准教授を退職、2013 年 6 月より現職。

著書：『快読 100 万語！ペーパーバックへの道』（ちくま学芸文庫）、『教室で読む 100 万語』（神田みなみと共著、大修館書店）、『さよなら英文法！多読が育てる英語力』（ちくま学芸文庫）など。



Makiko Awano (栗野真紀子) NPO 多言語多読副理事長。

1990 年、日本語教師になる。2002 年から多読用読みもの開発に取り組みはじめた。

『レベル別日本語多読ライブラリーにほんごよむよむ文庫』（アスク出版）の執筆監修を開始。2012 年 5 月『日本語教師のための多読授業入門』（アスク出版・共著）を出版。2016 年 6 月、大修館書店より、新シリーズ「にほんご多読ボックス」を刊行。



NPO 多言語多読のホームページはこちらから。 Tadoku.org

This workshop is made possible by a generous grant from the Japan Foundation.